



第96号

発行

2010年

12月15日

本郷ふじやま公園
運営委員会

★ ホームページは「本郷ふじやま公園」で 検索

正月に七草粥を食べよう

ふじやま公園では正月、来園者に七草粥を提供します。100名の方に1月9日11時30分から13時まで、100円です。古来私たちは春の七草を刻んで入れた粥を、邪気を払い万病を除く占いとして食べてきました。春先にとれる野菜を入れるようになったのは14世紀ころからのようでそれ以前は七種の穀物でした。

昔は前日の夜や当日の朝にまな板に乗せて囃し唄を歌いながら包丁で叩き、その当日の朝に粥に入れました。囃し唄は「七草なずな 唐土の鳥が、日本の土地に、渡らぬ先に、合わせてトントントン」など地方により多少の違いがあるようです。



《七草》

芹(せり)	名前は競り合うの「競り」であるとも。[消化を助ける。熱を冷ます]
薺(なずな)	三味線のばちに似た実から「ペンペン草」ともいう。[血压安定]
御形(ごぎょう)	黄色の小さな花を付け茎も葉も柔らか。母子草とも。[咳や喉の痛み緩和]
繁縷(はこべら)	春から秋にかけて白い花を付け茎も葉も食用にできる。[胃腸の疲れを取る]
仏の座(ほとけのざ)	葉を地に張り付けて放射線状に広げる様子から蓮座に見たてられた。コオニタヒラコとも。[高血圧の予防]
菘(すずな)	カブをいう。冬に収穫される数少ない野菜。[葉はビタミンA,C カルシウムを多く含む]
蘿蔔(すずしろ)	大根をいう。正月飾りでは鏡草といい、かつては鏡餅の上に大根を飾ったらしい。[身体の抵抗力増強]

◎子ども遊びも同時に開催

同じ日の11時30分から14時まで、座敷や中庭では独楽(こま)や羽根つき、すごろくなどのこども遊びも開催されます。

❄️.....❄️ ~花壇リニューアルのその後~ ❄️

猛暑続きだった7月から花壇のリニューアルが始まり現在も進行中です。畑仕事の合間をぬって多くの農芸部会員が知恵と力を出し携わっています。花壇に蔓延ったドクダミや笹を除草、根絶。囲いの古い瓦を取り除き新しく杭に変えました。

杭を切る人、運ぶ人、鉄のハンマーで打ち込む人たちによって、美しいカーブの囲いができました。すでに、アヤメや花ショウブを移植。新しく購入したバイモやカタクリ、アワモリソウ、香り一人静なども植栽されました。

四季折々に咲く、長く楽しめる、更に古民家に似合う日本古来の和花を思案中です。春、花が咲く頃が楽しみです。



12月に入り、日に日に寒さが厳しくなるとともに、紅葉した木々の赤や黄色の葉も鮮やかさを増してきた。風に吹かれた落ち葉がカサカサと音を立てながら坂道を舞い、吹き溜りとなった落葉樹の根元では、黄色い鮮やかな花をつけたツワブキの花が、うずたかく積もった落ち葉に守られるように咲いていた。

こうした落ち葉をかき集めて焚き火をする光景を目にすることも最近ではほとんどなくなってしまったが、夕もやに包まれてぼんやりと富士を眺めていると、遠く鉄橋を渡る汽車の汽笛を聞きながら、山茶花の花びらが敷き詰められた垣根の小径で焚き火にあたったあの日に帰ったような錯覚に陥ってしまいそうだ。

◇ 楽しかった！ 美味しかった！ 収穫祭！！



11月13日(土)、澄みきった秋空の下、ふじやま農園収穫祭が行なわれました。

10時30分からの受付開始に9時頃から並び始め、11時には完売状態となりました。迂回した道端には様々な案山子が人々を出迎え、今年は龍馬ブームにあやかって「龍馬伝」から坂本龍馬、「ゲゲの女房」から？鬼太郎に目玉親父を乗せて、そしてお馴染みの案山子家族に可愛い妹も加わりました。人々の感想は如何に？「龍馬はチョット老けてるかも～」、「鬼太郎はすごいね」など。

たくさんの方々の写真に納まりました。

今年の石焼芋は形も良くとても甘く好評でした。また畑で採れた里芋、ネギは柔らかくズイキも入ったふじやま鍋も美味しいと絶賛。更にお楽しみ券を各家族に配布(90枚)、特賞から五等まで35名の方々が当選されました。空くじ無しの残念賞にはレタスやイチゴの苗などを差し上げ、皆様の温かい拍手で収穫祭は終わりました。

◇ JR本郷台駅前駐輪場ギャラリーに作品展示

11月9日(火)から21日(日)まで、楽しい教室の作品展が行われました。

押し絵や創作人形など12の教室が日ごろの腕を披露。駅に向かう人たちも、ちょっと歩を緩めながら、窓越しの作品を楽しんでいました。



◇ キャンドルナイト in さかえ 2010 秋

『でんきを消してスローな夜を…』環境NGOの呼びかけで全国的に取り組まれているライトダウン。11月20日(土)本郷台でも、駅前広場活性化と地球温暖化防止啓発を目的に、今年で8回目の取り組み。ふじやま公園も参加し、子どもたちが描いた灯籠にろうそくを灯し、穏やかな空間を演出しました。



内蔵の宝 「櫛」



語源は「霊妙なこと、不思議なこと」という意味の「奇(く)し」「靈(くし)び」と言われています。他方では女性が髪を梳くことから女性にとっての象徴的な物品としても見られます。

古来、語の読みからは「苦死」に通じるため、道に落ちている櫛を拾うことは「苦と死を拾う」ことにつながり、縁起が悪いことと忌み嫌われてきました。どうしても拾わなくてはならないときは足で踏んでから拾うといった風習があったようです。

櫛の材質は木材、鼈甲、象牙や金属などいろいろです。山形の部分に花、鳥、風景や物語などの絵を入れて蒔絵をほどこしたものもあり、女性の髪を美しく飾ります。内蔵に陳列されている櫛はどれも筭と組みになっていて、地が黄色いものは鼈甲とみられ、螺鈿で牡丹や菊などがほどこされて金箔が押されています。地が黒いものは木に漆塗りのようで、やはり松や竹が描かれています。櫛の収集家、岡崎智予さんのコレクションを継承した「澤の井 櫛かんざし美術館」が青梅市にあります。



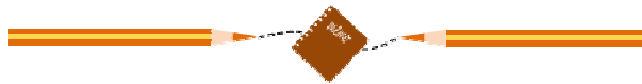
古民家を守る(その2) フレームチェッカー

文化財、特に歴史的建造物にとって火災は最も気をつけなければならないものです。本郷ふじやま公園の古民家にもいくつかの防火・消火設備が設けられています。古民家の茅葺屋根は花火や焚火あるいは飛び火によって着火しやすく、着火しても煙が立たず、発見が難しく、容易に建物全体に燃え広がります。



本郷ふじやま公園の古民家には茅葺屋根の火災を外側から検知する「フレームチェッカー」が設置されています。これは炎が放射する紫外線と赤外線の変化量を検出し、火災の発生をとらえます。主屋と長屋門の茅葺屋根に向かって、前後左右からいくつかの感知器が監視しています。感知器を搭載したポールが6本あり1本のポールに数台、全部で12台の感知器が設置されています。誤作動を考慮して2台が同時に感知して火災と判定し、ドレンチャーが作動します。

開園以来、火災の判定はありませんが、感知器1台だけが夕陽に反応して警報ランプが点灯することが年1~2回あります。この時は事務所に緊張が走りますが、誤作動でほっとします。



『いろいろ辺雑記』から(原文のまま)

美しい家ですね。この空間にいるとほっとします。なつかしいような……。ふと、藤村の『夜明け前』を思い出しました。とてもいい時間をすごすことができました。



ふじやま公園の植物

ヤツデ(ウコギ科)

日本原産の常緑低木。東北地方南部から沖縄まで広く分布します。葉が7~9に大きく切れ込むところから「八つ手」の漢字名が付けられました。

「八つ」は古来より末広がり、千客万来、また、大きな葉は魔物を払うとされ玄関先や門に植えられる事もあります。樹林の中で高木が落葉した後、冬の光に反応し、花の少ない季節の中で花が咲き昆虫に貴重な蜜を提供、季節はずれの開花?は昆虫の来訪を確保して受精を確実なものとしています。



平成23年1月ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解読勉強会	23日(木)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	休み
里山部会 作業	8日(土) 15日(土) 23日(木)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	13日(木) 16日(日)
工作棟部会 部会	26日(日)	クリーンアップ	18日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより 編集会議	8日(土)
ホームページ制作打合せ	12月26日(日)	印刷	12日(水)

登録ボランティアを募集しています、公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	1月16日(日) 10時～12時 13時～15時	クラフトでこまを作る	無料	当日受付 先着各12名
創作人形～ 創作雛 (全2回)	1月27日(木)13時～16時 2月10日(木)10時～16時	粘土で作るユニークな創作雛	1,500円	1月20日(木) 6名
炭焼き体験教 室(2月分) (全3回)	2月12日(土)9時～12時 2月13日(日)8時～17時 2月19日(土)9時～12時	自分の手で竹炭を焼いてみませんか(窯詰め、火入れ、窯出し)	無料	2月4日(金) 10名 全回参加できる方
遊布	2月16日(水)13時～16時	北奇貝のおひなさま	1,200円	1月31日(月)
第61回初心者 茶道教室	2月19日(土) 13時～16時	古民家で茶道を楽しんでみませんか。平服でお気軽にお越しください 男性の方もどうぞ	500円	1月28日(金) 10名
伝統工芸「鎌倉 彫」を彫る (全3回)	2月27日(日)13時～16時 3月13日(日) 同上 3月27日(日) 同上	18cmの平皿に「桜文」を彫ります	2,000円	1月31日(月)

- (1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選
(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

★古民家雛まつり

日時：2月3日(木)～3月14日(月) 場所：古民家

古民家座敷一杯にお雛様を飾ります。お友達やご家族づれでお越しください。

◎お座敷でお雛様を愛でながらお抹茶をお楽しみいただけます

3月6日(日) 12時～15時 (限定30名様、一服300円)

★開園8周年記念餅つき大会 —— みんなでつこうお餅つき

先着200名様に紅白祝い餅を差上げます

日時：2月15日(火) 10時～引換券発行 11時～引換



★11月ふじやま公園来園者数 2,783名 累計 16,753名

・開館時間	： 9：00～17：00	・入館料	： 無料
・年末年始休館日	： 12月29日(水)～1月3日(月)	1月5日(水)	
・クリーンアップ	： 18日(火)10時～11時		

★ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見や感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ